

地域のお便り

YAMAZAKI SHINNOBUKE

初トライアスロン、初完走!

7月2日(日)、2年ぶりに開催した「レイクハマナ・トライアスロン2017in村櫛大会」。所属している浜松青年会議所が共催した関係で、自分も初挑戦することになり…、それでもスイム1.5km、バイク40km、ラン10kmを3時間強のタイムで完走することができました!!当日は応援するのも大変くらいの真夏日でしたが、ロケーション抜群の浜名湖周辺に数百名が集まり、地域活性化にも貢献できたのではないでしょうか!?

「ものづくりの街」浜松をブランディング!

同じく浜松青年会議所では、8月13日に「ものづくりブランディング」事業を実施しました。目的は、浜松の中小企業が持つキラリと光る技術を、新たな分野のニーズと掛け合わせて価値あるものを生み出す体験を通じ、チャレンジ精神を喚起させること。浜松のものづくりは、本当に素晴らしいポテンシャルを秘めていますね!詳しくは、「浜松jc 産業育成委員会」のfacebookページからご覧ください。



しんのすけアプリ 増殖中!!

「しんのすけアプリ」の登録はお済みですか? 身近に起きている政治・経済・社会の情報をタイムリーにキャッチできますので、どうぞお試しください!

主なコンテンツ

- プロフィールや政策、写真集
- しんのすけチャンネル (ブログ・テレビ・ラジオ・機関誌・漫画)
- 新着☆情報、議会録画中継

QRコード

アプリはこちらから▶



山崎真之輔プロフィール

- ◆35歳三児の父親
- ◆浜松北高等学校、名古屋大学法学部卒業
- ◆元衆議院議員 鈴木康友(現浜松市長)秘書
- ◆浜松市議会議員(2期6年間)
- ◆静岡県議会議員(2期目)
- ◆所属会派:ふじのくに県民クラブ
- ◆所属委員会:厚生委員会
- ◆趣味:スポーツ全般、日本舞踊(花柳流)、読書、カラオケ、ボードゲーム

しんのすけ伝言板

●9月定例会で代表質問に立ちます!

9月25日(月)、会派を代表しての質問を本会議場で行います。県議会議員に転身してからは初めての代表質問ですが、会派が掲げる「命」「人」「豊」「礎」の4つの基本理念に基づき、県民福祉の向上につながる提言をしてまいります。ぜひ、傍聴に来てくださいね!

●交流の場「YORUTOCO」ご利用ください!

今年6月から、ボードゲームを中心とした遊べて学べる交流の場「YORUTOCO(ヨルトコ)」事業をスタートさせました。世界に広がる魅力的なゲームとの出会いを通じて、様々な世代との交流、防災や主権者教育などへの活用も可能です。是非一度、遊びに来てください!

<http://facebook.com/Yorutoco>



浜松市と静岡県を結ぶ!!若きカジュアル政治マガジン

静岡県議会議員

山崎しんのすけ

第14号 通信

平成29年8月発行

山崎しんのすけ事務所 | 〒430-0852 浜松市中区領家1-11-21 TEL.053-461-1020 FAX.053-465-6982
ホームページ→ <http://www.shin-sk.net/> 山崎しんのすけ 検索

本気が違う!!

ホップ・ステップ・ジャンプ! 川勝県政3期目へ

去る6月25日、17日間にわたって繰り広げられた静岡県知事選挙は、川勝平太現職が3期目の当選を果たす形で幕を閉じました。限られた時間と少ない争点の中での選挙戦でしたが、これまでの2期8年間の川勝知事の実績が一定の評価を得たことは確かだと思います。次の4年間、世界に誇れる“ふじのくに”づくりの総仕上げを、共に行っていきたいと思います!



初めて後輩ができました!

上記の県知事選挙と同時に行われた県議会議員補欠選挙において、富士市選挙区から初当選された伴卓さんが、我が会派「ふじのくに県民クラブ」の仲間に加わりました。

伴さんは、なんと30歳!

実は、僕の議員歴も早10年を経過したのですが、自分より若い議員が誕生したのはこれが初めてのこと。嬉しいですね! しっかりと後輩指導をし(笑)、会派運営を盛り上げてまいります。

知ってる
ほしい!

慢性疲労症候群のこと

去る6月、「筋痛性脳脊髄炎(ME)／慢性疲労症候群(CFS)のことをもっと知ろう」という趣旨で、CFS支援ネットワーク会員の皆様に静岡県庁までお越し頂き、県知事表敬訪問を行った後、勉強会と交流会を開催しました。

慢性疲労症候群とは、健康な生活を送っていた方がある日突然、激しい疲労感に襲われ、微熱や頭痛、筋肉痛、睡眠障害などの症状が長期間にわたって続く怖い病気。その病名から、まだまだ誤解や偏見が多く見られますが、例えばインフルエンザにずっとかかっているような信じられない状態であり、難病指定予備軍の難しい病気もあります。

ただ、原因がはっきりしていない、治療法も確立されていない、また難病にも指定されていないため適切な支援が受けられない等、課題が数多く、そのために、全国でCFS支援ネットワークが組織され、様々な活動をされています。



今回、皆様から切実な訴えを聞かせて頂いたことで、県としても早速ホームページで慢性疲労症候群のことを紹介するページを設けるなどの対応が実現しました。もちろん、これは始めの一歩にしか過ぎませんが、苦しんでいる患者さんのためにすぐ対応できること、国を含めて研究などを促進させること等含めて、これらの活動を支えていきたいと思います。

是非皆さんにも、正しく知って頂ければと思います！



特別支援教育の充実を高校でも！

近年、徐々に理解が進んできた発達障がい等に関する考え方。それに伴い、義務教育段階では支援員やスクールソーシャルワーカーを配置するなどの施策を進めていますが、それが高校教育段階になると、支援が急に薄くなってしまいます。

もちろん、静岡県教育委員会としても学校支援心理アドバイザーを配置したり、生徒支援充実事業を展開したりしていますが、質・量ともに足りておらず、また義務教育との綿密な連携ができるていないのが現状です。

先日は、発達障がいなどの生きにくさがある子を育てる保護者と支援者の会「アクティブ」さんから詳しいお話を伺い、教育長あてに要望書も提出しました。

高校は、大人としての社会的マナーやコミュニケーションスキルを身につける大切な時期です。今後、高校においても適切な支援が受けられるよう、特別支援教育の充実を進めていきたいと思います。



眞の目～連呼から政策の時代へ！～

念願叶う!!

2019年3月から、地方議会議員の選挙での政策ビラ(マニフェスト等)の配布が解禁となります。社会の環境が変わっても、選挙の風景だけは変わらない…。そんな古びた時計がようやく動き出すことになります。

これまで私は、全国組織である「ローカル・マニフェスト推進地方議員連盟」に属し、『連呼から政策の選挙へ』等の改革実現のために活動をしてきました。その結果、2007年の首長選挙でのマニフェスト解禁、2013年の選挙におけるネット解禁などの成果を残してきましたが、今回はそれに続く快挙！

この公職選挙法改正を機に、地方議会と県民の皆様の距離が益々縮まるよう努力を続けたいと思います。

